

プレスリリース
報道関係者各位

泉大津で「リアル避難所体験」体育館で完全停電・断水想定 of 1泊2日

～地域初の試み、災害への備えを促す～

公益社団法人泉大津青年会議所（所在地：大阪府泉大津市、理事長：岡田勇一）は、地域住民の防災意識向上と災害対応力強化を目的とした、1泊2日の「リアル避難所体験」を、2025年7月5日（土）～6日（日）に住友ゴム工業（株）泉大津工場にて開催いたします。

■ 「完全停電・断水」 リアルな避難所体験

泉大津市と臨時避難所体育館を実際の避難所に見立て、完全停電と断水を想定した状態で1泊2日の体験を行うという、地域初の体験プログラムを開催します。参加者は、停電と断水の状況で、避難所設営訓練、防災食体験、防災講話などを通して、災害発生時の困難や課題を具体的に学びます。

- 避難所設営訓練： 間仕切りテントの設営、受付やトイレの設置などを参加者自身が行います。これにより、避難所での生活空間の確保や、プライバシー保護の重要性を体感できます。
- 防災食体験： アルファ化米などの防災食を実際に調理し、試食します。普段とは異なる食事環境を体験することで、非常時における食料確保の課題や、防災食の重要性を認識することができます。

■ 企画実施における苦勞と工夫

本企画の実施にあたっては、停電と断水の状況を再現し、リアルな体験を提供するための準備に多くの労力を要しました。

特に、私たち市民が保有する避難所用品の種類や数量、市の備蓄状況などを把握することから始める必要があったため、調査に多くの時間を費やしました。また、備蓄品の保管場所の把握や、精密機械を含む輸送方法の検討など、輸送面での調整も大きな課題でした。

また、7月に開催するという時期を考慮し、熱中症対策としてスポットクーラーの導入を検討しましたが、予算との兼ね合いから、複数台のレンタルに留めるなど、コスト削減のための工夫も行いました。

■ 市民の防災用品持参に関する議論

本企画では、市民の方々に防災用品・避難所用品を持参していただくことを想定していますが、持参すべきものを事前に告知するかどうかについて、団体内で議論を重ねました。

議論の結果、リスクはあるものの、あえて持参品リストを提示しないという結論に至りました。これは、災害時に何が必要になるかを参加者自身が考え、準備する力を養うことを重視したためです。

■ 開催概要

日時： 2025年7月5日（土）16時～7月6日（日）9時

会場： 住友ゴム工業（株）泉大津工場（〒595-0044 大阪府泉大津市河原町 9-1）

参加対象： 泉大津市・忠岡町在住の方

参加予定人数： 40 名

参加申し込み： 6 月 16 日（月）締め切り

主催： 公益社団法人泉大津青年会議所

後援： 泉大津市、忠岡町、泉大津市教育委員会、忠岡町教育委員会

協力： 泉大津市危機管理課、防災女子部、住友ゴム工業泉大津工場、イノウエ商事

■ タイムスケジュール

7 月 5 日（土）

16:00 参加者集合・受付

16:30 オープニングセレモニー（主催者挨拶、講師紹介、日程説明）

17:00 避難所設営訓練（テント設営、受付設置、トイレ設置など）

18:00 夕食（アルファ化米などの防災食体験）

20:00 防災講話（災害時の行動、避難経路、持ち物、トイレの使い方、防災知識）

20:30 フリータイム（シャワーや歯磨き等、就寝準備）

22:00 消灯

7 月 6 日（日）

6:00 起床、ラジオ体操

6:30 朝食

7:30 避難所撤収作業（テント撤収、清掃、原状回復）

8:30 振り返り・アンケート（感想発表、質疑応答、記念撮影）

9:00 参加者解散

■ 本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人泉大津青年会議所

電話：0725-21-1090 FAX：0725-32-2898 メールアドレス：info@izumiotsu-jc.or.jp